

2015年9月15日

新たな調査で、オンライントラッキングが Web ブラウジングを遅延させることが判明

(2015年9月8日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

Freedome VPN でサードパーティのトラッキングをブロックすることで、ウェブの閲覧を 89%高速化しデータを保護できることが、エフセキュアのセキュリティ研究所の調査で明らかに。

トラッキング保護を活用することで、ロード時間を 89%も短縮することができます。これは オンラインセキュリティのプロバイダであるエフセキュアが実施した、新たな調査で明らかになった事実であり、リサーチャーはサードパーティのトラッキングクッキーがどの程度ウェブサイトで乱用されているのかが、調査結果から浮き彫りになったと述べています。適切な対策を整備しない限り、この「デジタル公害」はウェブの閲覧速度を低下させ、顧客は承諾なしにデータを使用せざるを得ない可能性があります。

エフセキュアのセキュリティ研究所は、アレクサの上位 50 位にランキングされているサイト*の閲覧において、Freedome のトラッキング保護を使用する場合と、使用しない場合で比較を行う調査を実施しました。その結果、Freedome を使用した場合は、人気のあるウェブサイトでもロード時間が高速であり、帯域幅の使用も少ないことが明らかになりました。ロード時間は 3%~89%、平均で 30%の短縮となりました。ページサイズは 3%~55%、平均で 13%の縮小となりました。ウェブサイトの中には 95 個ものトラッカーが使用されていましたが、これは Freedome の新しい機能である Tracker Mapper を活用することで確認できます。

エフセキュアのセキュリティ・アドバイザーを務めるショーン・サリバンは、オンライントラッキングは深刻な問題になっており、時間とお金を無駄遣いする原因であることが、調査で明らかになったと指摘しています。「通常、ウェブサイトではよりよいサービスを提供するために、ある程度のオンライントラッキングの使用が正当化できます。ただし、今回の調査結果では、收拾がつかない状態であることがはっきりと示されています」とサリバンは述べています。「トラッキングによってブラウザの作業量が増加するため、ユーザーやその親世代が 1990 年代に利用していた、ダイヤルアップ接続での閲覧状態が再現されているのが現状です。実際のところ、これは帯域幅を消耗するデジタル公害であり、データに対する対価の拡大が正当化された上で、情報が消費者の手にわたっているのです」

Freedome のトラッキング保護では、トラッキングサービスからのリクエストが完全にブロックされ、広告ネットワークに属する Cookie が除外されます。Freedome が閲覧のパフォーマンスを改善できたのは、こうしたデータの集積をブロックすることで、オンラインで移動するデータ量が削減されたからです。

「基本的にトラッキング保護では、サードパーティの Cookie がインターネット上にもたらしめているノイズが除外されます」とエフセキュアの次世代セキュリティ担当ディレクターを務めるジャンヌ・パティラーティは述べています。「消費者はこうしたノイズを求めていますませんが、知らないうちにそ

の代償を支払っているのです。そのため言葉は悪いですが、「不快」、かつイライラするほど遅いオンラインエクスペリエンスが、データ収集に頼る会社の事業運営のせいでお客様にもたらされることを、何らかのトラッキング保護を利用することで阻止します」

サリバンは、ウェブサイトが「軌道の修正」を行い、トラッキング技術の導入について見直す機会だとも話しています。こうしたメッセージを企業に伝えたい方は、Freedom のトラッキング保護機能を、優れたオンラインエクスペリエンスの実現に役立てることができます。Mac と Windows PC をお使いの場合は、ウェブの閲覧中に消費者を追跡するサードパーティの Cookie を確認できる Tracker Mapper のβテスト版にお申込みいただくことで、インターネットトラッキングの状態を改善できます。テストしていただく方には、こちら(<https://freedom.f-secure.com/trackermapper/>)で登録いただくことにより、Freedom を 2 か月間無料で利用できるコードをお送りいたします。

*出典: <http://www.alexa.com/topsites/global;0>

詳細情報:

Freedom https://www.f-secure.com/ja_JP/web/home_jp/freedom

Who Is Tracking ME? <http://freedom.f-secure.com/whoistrackingme/index.html>

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、25年以上にわたり世界中の数千万人もの人々をオンラインの脅威から守ってきました。弊社の受賞歴のある製品は、クライムウェアから企業を標的としたサイバー攻撃に至るまで、あらゆる脅威から人々と企業を守っており、40カ国を超える国々に広がる6000以上のリセラー、200以上の通信事業者から購入することができます。弊社の使命は、人々が周りの世界と安全につながるができるように支援することです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: キース・マーティン
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社
マーケティング部

Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295

Email: japan@f-secure.co.jp

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F

URL: <http://www.f-secure.com>

Blog: <http://blog.f-secure.jp>